センターだより

繋ぐ→支える→発信・リードする教育センター

第１０号
平成30(2018)年３月13日発行
吹田市立教育センター
大阪府吹田市出口町２－１
ＴＥＬ　06-6388-1455
ＦＡＸ　06-6337-5412
メール　s-educ@city.suita.osaka.jp

平成２９年度 教育センター 事業報告

１ 教職員研修

（１）市教育センター研修 ・・・・・・１９５講座（予定含む） 参加者 のべ５２９９人（２／２８現在）

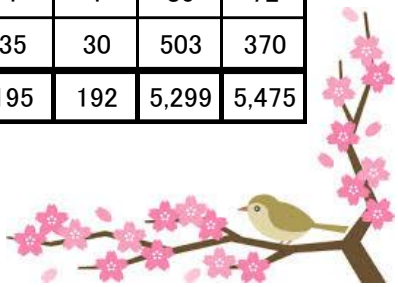
＜一般研修講座＞

平成29年度研修講座・受講者数（２／２８現在）

講座名（☆法定）	講座数		受講者数		講座名	講座数		受講者数	
	当該年度	前年度	当該年度	前年度		当該年度	前年度	当該年度	前年度
管理職研修	19	21	827	978	教育課題別研修	16	15	448	404
スクールリーダー研修	6	6	159	183	英語教育研修	15	9	283	225
学校パワーアップ研修		4		22	授業づくり研修	10	8	375	352
１０年経験者研修☆ ※選択研修は教育課題別研修に含む	5	5	203	201	特別支援教育研修	15	16	854	913
ヤングリーダー研修	6	6	65	55	専門職研修	8	8	104	157
ステップアップ研修☆	21	19	734	811	幼稚園・小学校教育研修	1	1	80	72
初任者・フレッシュ研修☆	38	44	664	732	情報教育研修	35	30	503	370
					講座全体	195	192	5,299	5,475

さつきらるーむ（初任者教員等相談室）（のべ１７回）
・研究授業等に向けての相談、初任者等への訪問指導

（２）校内研修支援
ア．中学校パッケージ研修支援（第一中学校　千里丘中学校　山田東中学校）
イ．校内研修会講師・指導助言



２ 調査・研究

（１）研究グループ活動
ア．発達理解　イ．ＩＣＴ活用　ウ．英語教育　エ．道徳教育　オ．校内研修活性化　カ．不登校対応

（２）委嘱研究学校
ア．言語活動・・・片山小学校、桃山台小学校　イ．道徳教育・・・高野台中学校、高野台小学校
ウ．その他（ＩＣＴ活用）・・・佐竹台小学校、千里丘北小学校

（３）教育研究団体への支援
ア．吹田市小・中学校教育研究会 講師謝金　イ．大阪府小・中学校教育研究会 分担金　ウ．各種研究会 分担金

３ 教育資料の収集・発信

（１）センターだより（各月・特別号）紀要１１２号（年度末に電子版で発行）　所報８８号（次年度当初に発行）
要覧№0.２４（毎年発行）

（２）教育資料等の充実・活用、ＳＡＴＳＵＫＩネットの活用

４ 教育研究大会・教育研究報告会

（１）教育研究大会　８月２８日（月）実施　教職員１９４人が参加
「子供が主体的・共同的に学びあう関係づくり」というテーマで講演を実施。
（メイシアター改修工事のため、千里市民センターで開催）

（２）教育研究報告会　１月２４日（水）午後に実施　教職員２２０人が参加
研究委嘱校、学研、研究グループ等の１２団体が発表。（メイシアター改修工事のため、ゆいぴあで開催）

（３）保護者啓発講演会　１１月２０日（月）午前に講演会を実施　保護者５１人が参加

５ 教育相談

（１）電話・来所相談　不登校、学習・発達、友人関係、いじめ、進路・就学、情緒・行動に関する相談に対応

（２）出張教育相談　全小学校に教育相談員を派遣し、子どもや保護者、教職員の相談に対応

（３）いじめのなやみ相談（専用ダイヤル）

６ 適応指導教室

不登校児童・生徒支援事業　学校復帰を目標にした「光の森」活動、「学びの森」活動、家庭訪問活動の実施

７ 特別支援教育

（１）巡回相談　幼稚園、小学校、中学校への個別の巡回発達相談、小学校１年生全員を対象とした巡回発達相談の実施

（２）教職員の指導力育成　特別支援教育研修　特別支援教育コーディネータ研修、事例検討研修、支援学級研修の実施

（３）保護者支援　保護者啓発研修、ペアレント・トレーニングの実施

８ 進路選択支援

進路選択支援相談　奨学金や貸付金等の進路選択に関する相談を通した中・高生とその保護者の支援

９ 情報教育

（１）情報教育機器等の整備

ＰＣ及び周辺機器の配備・保守運用（職員室・コンピュータ教室・図書室）

児童・生徒用タブレット及び無線ＬＡＮアクセスポイント並びにプロジェクタの配備・保守運用

（２）ＳＡＴＳＵＫＩネットの再構築

ア．センターサーバー方式によるデータの本庁サーバ室での一元管理

イ．仮想化ＰＣシステム、手のひら静脈認証方式によるセキュリティ対策の向上

ウ．統合型校務支援システム（Te-Comp@ss）の導入　エ．共有フォルダの構築・保守運用

オ．各校・園のＨＰ管理システムの構築・保守運用　カ．各校・園のブログシステムの構築・保守運用

キ．保護者向けメール配信システムの構築・保守運用　ク．ヘルプデスクの委託　ケ．ＩＣＴ支援員の委託

（３）情報教育推進支援

ア．情報教育推進委員会（６回開催）　イ．情報教育研修の実施

10 学校支援

学校等支援者ボランティアネットワーク　登録者数**（２／２８現在）**：８４６名

（１） エス・ネット　（２） スクール・ボランティア　（３）学校インターンシップ

平成30年度事業計画

１　教職員研修

（１）キャリアステージに応じた研修の充実

初任者研修（法定研修）　対象８４名（予定）１０年経験者研修（法定研修）対象１０１名（予定）

５年次研修　ステップアップ研修（Ⅰ：２年目　Ⅱ：３～５年目）　ヤングリーダー研修（１０年研修前）

（２）教育研究大会

平成３０年８月２８日（火）午後　メイシアター　「新学習指導要領改訂に向けて」（仮）

（３）教育研究報告会

平成３１年１月３０日（水）午後　メイシアター

２　教育課題調査研究

（１）教育センター研究グループ　リニューアルを検討中

（２）研究委嘱校　６校に研究を委嘱予定

（３）校内研究支援　中学校パッケージ研修　３校程度で実施予定

３　教育相談

（１）来所・電話相談　変更なし　　出張教育相談　調整中

（２）大阪府スクールカウンセラー　年間３５回派遣

４　適応指導教室　　光の森活動・学びの森活動・家庭訪問活動

５　特別支援教育

（１）小学校1年生を対象とした巡回発達相談の実施

（２）特別支援教育Ｃｏ．研修　共通研修（４回実施予定）選択研修（４回以上受講）

６　情報教育

（１）情報教育機器の活用の推進　（２）情報リテラシーの向上、情報セキュリティの徹底

（３）図書館システム　低学年図書室端末設置に向けて

平成２９年度 吹田市教育委員会 委嘱研究学校 千里丘北小学校

本年度、委嘱研究学校となった千里丘北小学校で平成３０年２月１３日に、４年生算数科の研究授業が公開されました。

千里丘北小学校では、授業において深い学びを作り出す流れを追及することや、「わかる学力」に関して、学年段階ごとに達するべき目標はどのようなものか検討することを、本年度の主なテーマとして取り組んでいます。

今回の研究授業では「遅れがちな児童」を集団の中でどのように指導するか、その手立てを考えました。授業冒頭ではICTを活用することで、児童の興味関心を高める工夫が見られました。ジュースを分配する課題においては、実物を使って他の児童と協働しながら作業することにより、「わかった」と笑顔で答えを導き出すことができました。算数における答えにたどりつくまでの考え方は児童により多種多様で、さらに交流することにより新たな疑問が生まれ、より深い学びにつながっていました。

その後の研究協議においては、児童のノートを見ながら、答えに至るまでの違いに着目し、指導方法について熱い議論が展開されました。

最後に東京大学大学院 藤村宣之 教授より「できる学力」と「わかる学力」をいかに高めていくかについて、お話を頂きました。手続きや知識を主とする「できる学力」以上に、思考力・表現力・判断力を主とする「わかる学力」を育むためには、自分の考えを持つような発問のある授業展開が必要であり、そのような授業展開を行うことによって活躍できる児童が固定されず、教室にいる児童全員が活躍できる、授業のユニバーサルデザインにつながるというお話でした。

藤村先生の助言を受けながら研究をすすめる千里丘北小学校で今後どのような授業が展開されていくのか、期待が膨らみます。

◆　教育相談　◆

１．出張教育相談（小学校）・スクールカウンセラー（中学校）

平成２９年度は、市内全３６小学校を対象に、相談実績に応じた年間派遣回数を設定して教育相談員を派遣し、出張教育相談を行いました。また、中学校に対しては大阪府派遣のスクールカウンセラー（以下ＳＣ）が全１８中学校に対して年間３５回の教育相談を行いました。相談内容は保護者、児童・生徒に対するカウンセリングや教職員との相談、校内会議における助言等です。本年２月１日現在では小学校・出張教育相談が約２０００回、中学校・ＳＣでは約４３００回の相談があり、特に発達障がい、不登校、心や身体に関すること等について多くの相談がありました。小学校では保護者相談が多いですが、中学校では生徒本人からの学校生活に関する相談も多くありました。教育相談員・ＳＣの生徒指導会議やケース会議への参加も増えています。

２．来所相談・電話相談

教育センターにおける来所相談と電話相談では、２月１日現在で、合わせて約３０００回の相談がありました。主訴は不登校、心や身体に関すること、発達障がい等に関する相談が多く見られました。

◆　不登校児童・生徒支援事業　◆

本市適応指導教室の状況

今年度の在室児童・生徒数は「光の森」活動が２５名（中学３年生１０名、２年生６名、１年生８名、小学６年生１名)、「学びの森」活動は、３０名（中学３年生１３名、２年生７名、１年生５名、小学６年生２名、小学５年生２名)、家庭訪問活動は、１名（中学３年生）です。〔いずれも３月７日現在。体験中児童・生徒含む〕

今年度も、学校訪問や連絡会をとおして、学校・家庭・適応指導教室が連携して子供を支える体制を整え、校内の適応指導教室との併用なども含めた在籍校への部分登校につながる児童・生徒が例年以上に多くいました。

また吹田市立教育センターホームページにて、適応指導教室についてのＱ＆Ａを掲載し、学校や保護者、地域への発信に取り組みました。

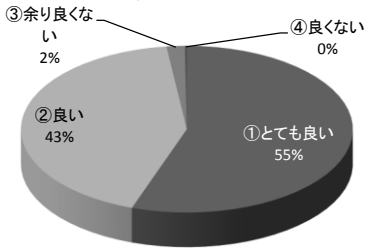
平成29年度教職員研修について

■ 平成29年度研修講座と参加者数（2月28日現在） 全講座数　195 講座　参加者数のべ　5,299 人

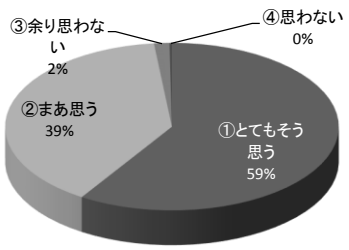
幼小中一貫教育や英語教育などの吹田市の重点施策や、次世代リーダー育成・教育課題別研修等を中心に、合計の研修１９５講座を実施し、のべ５２９９人の参加がありました。（２月２８日現在）

■ アンケート結果概要（回収率92．5%）

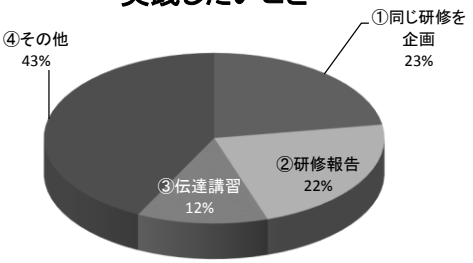
内容について



職務に生かせるか



実践したいこと



研修内容については、「とても良い」「良い」をあわせて９８％、「今後の職務に生かせるか」という質問に対しては、「とてもそう思う」「思う」をあわせて９８％の肯定的回答があり、昨年度と同様にとても高い評価をいただきました。

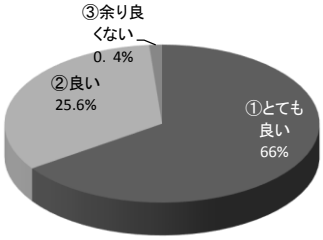
特に、初任者研修・授業づくり研修・専門職研修では、７０％近くの方から「とても良い」と評価をいただきました。

また、研修の事後活用について、報告に留まらず、「同じ研修を企画」が２３％と、昨年度より高くなっており、各学校・園での研修内容や情報の共有化に向けた取組みへの意識を感じました。

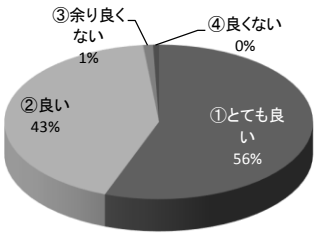
他にも自由記述等で、研修の進め方やテーマ設定等に係るたくさんの貴重な意見をいただきました。これらを参考にしながら、今日的な教育課題や各学校・園のニーズを踏まえ、次年度の研修を準備していきます。研修への積極的な御参加ありがとうございました。

■ 講座別結果 （「内容はどうでしたか？」に対する回答）

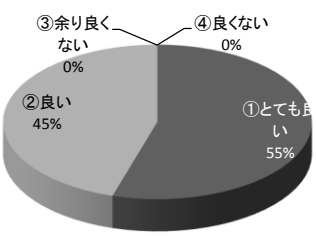
初任者・フレッシュ研修



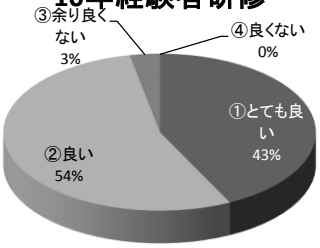
ステップアップ研修



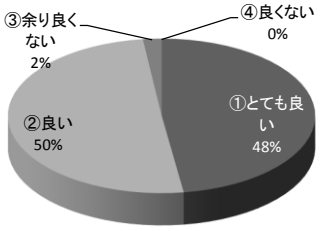
ヤングリーダー研修



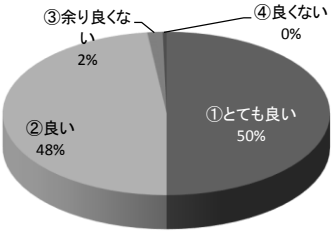
10年経験者研修



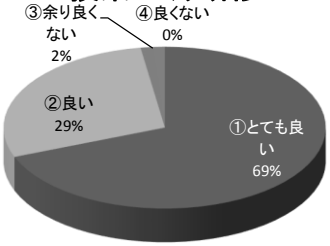
スクールリーダー研修



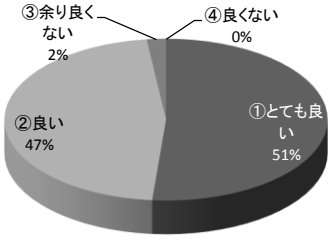
英語教育研修



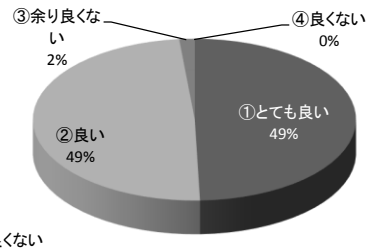
授業づくり研修



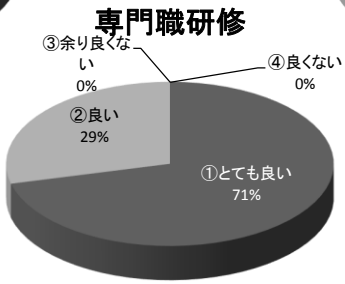
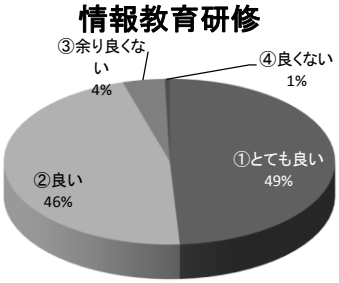
教育課題別研修



特別支援教育研修



専門職研修



情報教育研修